

企業の経営者・教育担当者様へ

社員の人材育成講座のご利用案内

— 7月～9月開講 能力開発セミナー —

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構福島支部 福島職業能力開発促進センターいわき訓練センター
 (愛称：ポリテクセンターいわき)
 〒973-8403 いわき市内郷綴町舟場 1-1
 ☎0246-26-1231 Fax 0246-26-1237

4月に新入社員を迎えて3か月が経過し、それぞれの配置先でOJTに取り組んでいる事業所様も多いと思います。新規採用者の育成あるいは指導的立場の方の指導力向上にはOJTに加えて職場外でのoff-JTを取り入れた育成手法も効果的です。昨年度ご利用をいただいた事業所様からいただいたコメントを以下に紹介します。

- ・理解しているつもりでいた知識を実際に実習で経験し客先への説明が深いものとなった。
- ・分業化による技能・技術力の低下を防ぐことができる。社内での横展開をしています。
- ・製品づくりに当たり顧客から資格取得の要請があり受注につなげることができた。
- ・現在は資格がなければ現場において仕事に従事できません。受講して大いに役立っています。
- ・自己流的な技術であったものが、専門知識・技能が習得できた。
- ・国家技能検定へ挑戦したいという意欲がわいてきた。
- ・土日の開催は仕事に支障が無いので助かります。
- ・現場で出来ない実習を習得できた。実務中は練習ができない。

各コースは「職業能力開発促進法」に定める「高度職業訓練専門短期課程」で通称「能力開発セミナー」と呼んでいます。

7月～9月に開講する講座は以下のとおりです。お気軽に申込み・問合せをお願いします。内容はホームページでも確認することができます。

【生産管理】経験豊富な講師による新規コースです。

生産管理システムの活用と現場改善

- ◇定員：10名
- ◇対象：製造業に従事している方(経営管理者及び生産管理者等)
- ◇日程：2日間(8/25㊦、8/26㊧)
- ◇受講料：13,000円
- ◆講師：松野裕二(松野技術士事務所(宮城県)代表)
 ※長年大手企業の品質管理・生産管理活動に従事
- ◇内容：多様な製造現場に適する各種生産管理システムについて理解し、製造工程の実践的改善能力を習得します。
- ◇使用機器：パソコン、プロジェクター
- ◇持参品：筆記用具、電卓

【溶接技術】以下の2コースは7月と9月にそれぞれ1回開講します。日程は同一日です。どちらか1コースを選択してください。日本溶接協会の技能評価試験の受験準備にも最適です。

TIG 溶接実践技術(ステンレス鋼板材編)

- ◇定員：5名
- ◇対象：溶接作業に従事する方
- ◆日程：2日間(7/9㊦、7/10㊧)
 2日間(9/10㊦、9/11㊧)
- ◇受講料：17,000円
- ◇内容：現在の習得度を確認し、ステンレス鋼のTIG溶接作業の各種継手の溶接を行い、適正なTIG溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。
- ◇使用機器：TIG溶接装置一式、安全保護具、器工具一式等
- ◇持参品：筆記用具、溶接保護具一式

炭酸ガス半自動アーク溶接技能クリニック

- ◇定員：5名

- ◇対象：溶接作業に従事する方
- ◆日程：2日間(7/9㊦、7/10㊧)
 2日間(9/10㊦、9/11㊧)
- ◇受講料：17,000円
- ◇内容：製品の品質向上を図り、鋼構造物作成工程のマグ溶接作業における技能高度化をめざして、各溶接実技課題を通じて鋼構造物製作に関わる溶接技術・溶接施工の技能・知識を習得します。
- ◇使用機器：マグ溶接装置一式、器工具一式、安全保護具、溶接継手曲げ試験機
- ◇持参品：筆記用具、溶接保護具一式

【建築技術】電気設備監理に精通する講師による新規コースです。

建築電気設備の施工管理

- ◇定員：10名
- ◇対象：建築電気設備の施工管理に従事する方
- ◇日程：2日間(8/27㊦、8/28㊧)
- ◇受講料：8,000円
- ◆講師：奥田壽明(株)窓建コンサルタント(東京都勤務)
 ※電気設備工事監理に従事
- ◇内容：建築物の建設を目的とした建築電気設備工程表の作成、施工管理実施の際の問題点等を考慮し、建築電気設備施工管理の運営を習得します。
- ◇使用機器：プロジェクターほか
- ◇持参品：筆記用具

【機械技術】以下の2コースはセットコースです。両コース(4日間)の受講をお願いします。

実践 NC 旋盤加工技術(効率的なプログラム作成編)

- ◇定員：10名
- ◇対象：機械加工業務に従事する方
- ◇日程：2日間(8/27㊦、9/3㊦)
- ◇受講料：9,000円
- ◇内容：部品加工の製造現場において、図面や生産条件に基づいた最適化(改善)をめざして、工程立案・段取り・要求される条件をクリアできる効果的手法を課題作成を通して習得します。
- ◇使用機器：NC旋盤(TAKISAWA TCN-2000)、データ入力装置、切削シミュレータ
- ◇持参品：筆記用具、電卓、作業服、作業帽、安全靴

実践 NC 旋盤加工技術(工程設計・加工段取編)

- ◇定員：10名
- ◇対象：機械加工業務に従事する方
- ◇日程：2日間(9/10㊦、9/17㊦)
- ◇受講料：9,000円
- ◇内容：部品加工の製造現場において、図面や生産条件に基づいた最適化(改善)をめざして、工程立案・段取り・要求される条件をクリアできる効果的手法を課題作成を通して習得します。
- ◇使用機器：NC旋盤(TAKISAWA TCN-2000)、データ入力装置、切削シミュレータ
- ◇持参品：筆記用具、電卓、作業服、作業帽、安全靴

企業の経営者・教育担当者様へ

オーダー型講座のご利用案内

ポリテクセンターいわき

〒973-8403 いわき市内郷綴町舟場 1-1

☎0246-26-1231 Fax 0246-26-1237

http://www3.jeed.or.jp/fukushima/poly/iwaki

ポリテクいわき 検索

当センターが計画したコース（レディメイド型：裏面参照）以外に、各団体・企業様のご要望に応じた独自コース（オーダーメイド型）を設定し、計画・実施しています。

企業様から相談を受け、計画・実施したオーダーメイド講座の3事例を紹介します。この事例などを参考にお気軽にご相談ください。

【事例1】 技術・技能の継承に活用 《ポリテクセンターいわき会場タイプ》

◆課題（A社）

受注・設計・製造・販売を一貫体制で実施しているA社は、熟練技能者の退職、製品づくりの分業化、技術革新による自動化などがすすみ、社内で有していた基盤技術・技能の継承が機能しなくなること危惧し、社内教育システムに技術技能継承を組み入れて育成を強化している。社内でもoff-JT、OJTに取り組んでいるが、指導する者が少なくなってきた技術・技能分野もある。ものづくりは市場のニーズの変化をとらえて逐次変化していく中で、現在は必要はないとしても、社の基盤技術・技能が消滅が今後の新製品開発・新分野展開などに影響を及ぼす。社員のモチベーションを高めるためにもポリテクセンターいわきを活用したい。

◆オーダーメイド講座の概要

・平日2日間（12時間）コースを3コース毎年度計画・実施している。

◆活用のメリット

・基盤技術・技能の分野の一部をポリテクセンターいわきで実施することで、遠方に出向く出張費や宿泊費が必要なく経済的である。
・技能検定などにチャレンジする社員が増えてきている。

【事例2】 技術・技能の向上に活用 《自社会場（講師派遣）タイプ》

◆課題（B社）

B社は、設計から製造・販売まで一貫体制で実施しているが、販売先大手顧客企業X社では製品の品質確保や製品開発の強みとして社内検定制度に力を入れている。部品の納入先企業であるB社もX社の検定を受験をしているが合格率が芳しくない。合格率の向上には社内での指導が必要であるが指導する者が不足している。また、検定に使用する自社内の機械を実際使用し、機械の操作方法や基本的技術・技能を習得することも目的に、ポリテクセンターいわきから講師を派遣して実施してほしい。

◆オーダーメイド講座の概要

・平日の午後2～3時間を使ってB社工場内で5日間（合計12時間）のコースを計画・設定し実施する。

◆活用のメリット

・モチベーション、リーダーシップ、スキルアップ、生産効率の向上に役立った。
・他の職種 of 社員もレディメイドコースの受講を申し込んだ。

【事例3】 製品開発の課題解決に活用

◆課題（C社）

海外から特殊製造装置を受注生産しているC社は、部品に用いる金属の種類を変更したことにより、部品加工に苦慮していたので、部品加工方法などを提案し、さらに、加工に使用する機械の操作方法・実際の技術・技能の習得などを目的とするコースを提案し実施した。

◆オーダーメイド講座の概要

・平日2日間コース（12時間）を計画実施した。

◆活用のメリット

・部品製造の課題が解決し品質の高い製品製造に役立った。
・今後、他の加工分野のコースの利用も考えたい。

センター長挨拶

福島県沿岸地域のものづくり人材育成の一翼を担う

昨年4月に九州から転勤してまいりました。熊本地震で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

東日本大震災から6年目に入り福島県沿岸地域は、地震・津波・原発事故・風評被害といった4重苦を克服すべく行政機関・産業団体・各企業・地域の皆様が一丸となり復興に取り組んでいるところです。当センターが所在するいわき市は、復興拠点として、また、工業都市として地域をリードする役割があると考えています。当センターは昭和35年に設置され本年度で56年になりますが、この間、技術革新や産業動向の変遷に併せて、ものづくり分野の人づくりに向き合っておりまいた。本紙で紹介しているような講座の受講者数はセンター発足以来1万人を超えています。今後も、地元の産業界の「ものづくり現場の人づくりのパートナー」として愛され親しまれるセンターとなるべく尽力をしてみたいので、なお一層のご利用をいただくと共に、ご相談ご意見ご要望等をお寄せください。

ポリテクセンターいわき センター長
野見山 秀樹



相談・申込・問合せ・施設案内

〒973-8403 いわき市内郷綴町舟場 1-1

☎0246-26-1231 Fax 0246-26-1237

http://www3.jeed.or.jp/fukushima/poly/iwaki

